

本邦製造元祖！ 西川オルガンものがたり

オルガンと聞いて思い出すのは…小学校の教室の電子オルガン？年齢によっては足踏みオルガンを思い出す方もいるだろう。オルガン・ピアノが風琴・洋琴と呼ばれ、西洋楽器にまだなじみがなかった明治時代、横浜でオルガン製造に乗り出した男がいた。千葉県に生まれた三味線職人・西川虎吉だ。虎吉は1876(明治9)年横浜・元町に出て外国人の下で学び、1884(明治17)年に日本人として初めて足踏み式のいわゆるリードオルガンを製造した。これは日本楽器製造株式会社(現在のヤマハ株式会社)の創業者、静岡県・浜松の山葉寅楠のオルガン製造より3年早いことだった。



西川虎吉[1849(嘉永2)~1920(大正9)]『京浜実業家名鑑』横浜中央図書館所蔵



「Empire Organ」の表記の下に「YOKOHAMA KOJO」の文字。日本楽器製造へと社名は変わったが、実態は西川オルガンだった 画像提供/わらべ館

ろが1919(大正8)年、後継者であるその安蔵が急逝、翌年後を追うように虎吉も亡くなり、1921(大正10)年、西川オルガン・ピアノ製造所は、日本楽器製造に吸収された。高い製造技術で知られた西川オルガン。その後も、日本楽器製造横浜工場で製造されたオルガンやピアノには、昭和10年代に工場が閉鎖されるまで、西川の技術が伝えられていた。「西川トーン」と呼ばれるその音色は、今日でも愛蔵者が少なくないという。それは、レトロなオルガンが奏でるやわらかな音色が、スピード社会に生きる私たちに安らぎを与えてくれるからかもしれない。

家にいながらその音色をインターネットで聴くことができる。36秒間、耳を傾けてみては。 ◆わらべ館(鳥取市) 演奏曲 ♪ ふるさと ♪

わらべ館 戦前の足踏みオルガン

ココロカで 毎日ステキに♪ vol.66

Q カウンセリングを受けたいのだけどコロナが怖くて予約できません…。

A 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出自粛がだされている今、できるだけ外出は避けたいものです。とはいえ、先行きの不安や焦りや恐怖、眠れなくなったり、感染が怖くてひきこもりになってしまったり、いき過ぎる除菌行為がやめられないなど心身ともに疲れてしまい、生活もままならなくなり鬱症状を訴える方も増えてきております。

と思考もネガティブになりやすくなり、自分に自信もなくなり孤独を感じやすくなるので、誰かと語り合い繋がっているという安心感はとても大事です。

外に出かけることもなく、感染の心配もないオンラインでのカウンセリングはご存知でしょうか?テレビ電話のような形で顔をみながらのカウンセリングが可能です。機種にもよりますがパソコンや携帯電話でおこなうことができますので気軽にお問い合わせください。まみこメンタルジムでは今月いっぱい初回30分無料となっております。

心理カウンセラー 但野 真実子 株式会社ココロ 代表取締役 (横浜市西区平沼1-33-1 日新横浜ビル5階) ☎045-548-4156 インターネット放送局「わいわいテレビ」出演

鉄道会社に「絵はがき」を出して、お返事をもらおう! 関東の民鉄各社への絵はがき大募集 関東鉄道協会では、行ってみたい、乗ってみたい、見てみたい鉄道会社あてに絵はがきを送ると、返事を受け取れるキャンペーンを5月31日(日)まで実施中。応募資格は国内在住の3歳〜小学生まで。鉄道をテーマに自由な発想で描いて送ろう!

ヨコよみ みんなのおたより ※ヨコハマよみり編集部では、皆さまからいただいたおたよりすべてに目を通し、紙面づくりに生かしております ※ベトナム、風景でも…おもしろ写真大募集! info@shonan-yomiuri.co.jpまで ※掲載された方に粗品をプレゼント! ※アンケート結果は4面に掲載しています

- ✉ 鈴木尚典さんの記事は、監督の想いがとても詰まっていた胸に響きました。横浜への想い、様々な縁への想い、目標への想い、とてもステキな人生だと思いました。 鶴見区 K
- ✉ 今回の記事で、初めてルートインBCリーグの存在を知りました。世間がこんな状況で、開幕戦が延期になりましたが、選手たちの練習の成果が無駄にならないことを願います。絶対試合観に行きます。 西区 O
- ✉ カレーハウスリオは子どもの頃、初めて親に連れて行ってもらった外食店で、非常に懐かしいです。 磯子区 W
- ✉ カレーハウスリオ、亡くなった父がとても好きなお店で、特に「カツカレー」が懐かしくて…。 瀬谷区 Y
- ✉ 「横浜の記録」。高校時代の友人の家が三春台にあったので、黄金町のガード下を通っていくのだが、呑み屋の前にお姉さんが連なるように並んでいて、その前を通るのが恥ずかしかった青春の思い出。今より人間味、生活感があったかもしれない。 神奈川区 T
- ✉ 「共創横濱」。ネーミングライツというのは、大きな建物に適應されるものだと思っていました。トイレとは驚きです。一度利用してみたいと思いました。 港北区 M
- ✉ 「新聞代がもったいない」と購読しない人が私のまわりでも多いです。ですが、活字でしっかりと覚えるには新聞が必要です。いろいろな情報を見つけることもできます。 港北区 K

ともにつくる vol.68 共創横濱 横浜市温暖化対策統括本部 プロジェクト推進課 × (株)e-Mobility Power

次世代自動車先進都市を目指そう! 横浜市の二酸化炭素排出量(1,833.5万トン/2017年度)のうち、約20%を運輸部門が占め、運輸部門における自家用自動車の二酸化炭素排出量は約46%にのぼる。二酸化炭素などの温室効果ガスの削減には、電気自動車やプラグインハイブリッド車などのEV(Electric Vehicle)普及は不可欠だ。そのため、市は、東京電力ホールディングスと中部電力による次世代自動車社会を支える共同出資会社、(株)e-Mobility Powerと連携し、さまざまな取り組みに乗り出す。



市内のEV登録台数は約3,800台(2018年度)。充電インフラを整えるにはEV化ポテンシャルは高い。さらに、同社の吉畑マネージャーは「防災の重要拠点には、災害時にEVから電気を取り出せる防災機能付きの充電器を、また観光地にはデジタルサイネージ機能が付いた充電器を設置するなど、街の防災力強化と活性化にも貢献したい」と語る。

温暖化対策統括本部プロジェクト推進課長の岡崎さんは「充電インフラの拡大を後押しすることでEV普及に弾みをつけ、市内の低炭素化を加速させたい」と話す。目指すのは、誰もがEVに乗りやすい環境が整った「次世代自動車先進都市YOKOHAMA」だ。

横浜の記録 vol.9 変容する横浜の街・人・時代… 横浜の「記憶」を心に焼きつける



「三吉演芸場」 昭和の初め頃、南区の中村川沿いに銭湯「草津温泉」があった。二階には大衆演劇「三吉演芸場」があり、僕は設立50周年記念誌の撮影で通っていた。余裕がある時は銭湯に入ってから撮影に行ったものだ。お抱えの一座が存在し、役者は芝居にとどまらず歌謡ショーや舞踊も披露している。昔からのファンクラブは今も全国にあるので、令和の現在も演芸場は賑わいをみせている。

写真・文 写真家 森日出夫 1947年横浜市生まれ。JPS(日本写真家協会)所属。長年撮り続けた横浜の街・人・を「森の観測」と名づけ、それらの作品を写真集や個展に多数発表している。独自の感性で森の「記憶」を記録する。

テラス席ベットOK 米沢市観光大使就任記念 特別弁当を販売中! 笹生店長の観光大使就任記念として、テイクアウト専用の「栗の里弁当」を販売します。お待ちは間は、きれいな空気の中、敷地内のローズガーデンでバラをお楽しみください。全天候型ウッドデッキも50席完備しています。 米沢牛100%ハンバーグと有頭大海老フライ 栗の里弁当 2,000円(税別) ※お弁当700円(税別)~各種あり レストラン&ローズガーデン 栗の里 ☎046(245)1341 厚木市山際554-1 圏央厚木I.C.より約5分 5月の営業時間 10時~OPEN(予定) 無休 P50台 クレジットカード使用可。キャッシュレス決済5%還元事業参加! 5月(得)クーポン ※宴会メニュー不可 2020/5/31 まで テイクアウトでも 店内でもOK 10%OFF

プレゼント 応募締切 5月15日(金) 必着 Present 応募方法 右記要領でご記入の上、ハガキ・Eメールで! ※応募者多数の場合は抽選となります ※当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます ※ベトナム、風景でも…おもしろ写真大募集! info@shonan-yomiuri.co.jpまで ※掲載された方に粗品をプレゼント! ※アンケート結果は4面に掲載しています

1 横浜が舞台の絵ものがたり 『あかいくつ』 3名様 赤い靴に込められた娘を想う母の願いとは? 5年生の春に母を亡くしたハルカが、社会人1年生となったある日、母から贈られた赤い靴を初めて履き、幼馴染の裕太と横浜を散策。立ち寄った山下公園の「赤い靴はいた女の子像」の前で不思議な出来事を体験する。心がじんわりと温かくなる1冊。 文:こまざわまさこ 絵:すえおか えみ 本体価格1,000円+税 四六判・上製・オールカラー・32ページ 銀の鈴社

2 全作品を語り尽くす! 『百田尚樹をぜんぶ読む』 3名様 『永遠の0』『海賊とよばれた男』などを生んだベストセラー作家にして敏腕放送作家。さらに「保守」論客として、その発言が注目される百田尚樹。3つの顔はどのようにして生まれたのか? 気鋭の若手批評家2人が全作品を徹底的に論じた、百田ファンもアンチも必読の書だ。 杉田俊介・藤田直哉著 4月17日発行 本体価格940円+税 新書判 320ページ 集英社新書